



青森からお届けします！



2月は一年でいちばん寒い季節となります。気温は0~-7℃。一晩で60cmもの雪が積もるところもあり、辺り一面は真っ白な銀世界、猛吹雪でホワイトアウトなんてことも。そんな緊張感のある時期も、実はワクワクしていて私は好きな季節です。りんご園では、りんごの木々があっほり雪に覆われ、時の止まったかのよう、まるで別の世界のような感覚にもなります。今、りんごの木々は枝が凍死しないよう、水命を地下の根へと下げ静かに冬を越す準備をしています。この時期はりんごが美味しく実るための大切な準備期間でもあります。

白い園地とピンクの目印

すっかり白銀の世界となったりんご園地。そんな雪降るなかりんごの枝を切る『剪定』という作業を黙々と行っています。剪定作業ではりんごの木をよく観察しながら行うため、病気になっている枝や幹を見つけたりします。そんな場合は患部に目印としてピンクのテープを巻いておきます。雪があるうちはなかなか治療ができない為、春になって治療をする際に患部を見つけやすくするために、ピンクの目印をしています。

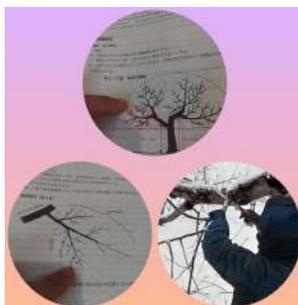
剪定をしている時は、ただ枝を切るだけではなく、木の状態を『問診』しているような時間でもあるのです。 久米



一緒にレベルアップ

昨年から新しく仲間が増えました。そして冬の今は剪定を教えています。ただ自分はちょこっと口下手です…なので少しでも分かりやすく伝えられるように自分も今一度学びながら一緒にレベルアップしていきたいです。

佐藤



冬の園地の相棒「かんじき」

冬の園地での必需品。「かんじき」を見たことはありますか？職人の手によって、長靴がしっかりと固定されるよう、太めのロープを使い、組み紐のように丁寧に結ばれています。かんじきを履くことで、雪の中でも足が沈みにくくなり、深い雪の園地でも安定して歩くことができます。

初めて「かんじき」を履いて園地を歩いた時は、雪に足をとられることがなく、思っていた以上に便利な物だと感じました。それでも冬の園地は歩きづらい…きこちなく先輩の背中を追いかけ楽しく作業しています。

奈良岡



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>